



謹賀新年

2009年度
(社)鳥取青年会議所
会報誌 1月号



INNOVA [ina:va]
変革



2009年元旦 聖神社にて 新年祈願

「未来の笑顔は我が責務なり」
理事長 水野 由久

新年明けましておめでとうございます。いよいよ2009年の幕開けです。世の中を見渡せば、不景気一色ですが、(社)鳥取青年会議所のメンバーはこのような時代だからこそ、しっかりと前を向いてポジティブな思考を忘れずに、JC活動ができることに感謝しましょう。

2009年は因幡地域では鳥取自動車道が開通し、「2009鳥取・因幡の祭典」が開催されます。LOM内では「環光のまち因幡」推進運動がスタートし、創立50周年記念大会、新しい事務局での組織運営が始まります。因幡地域にとっても(社)鳥取青年会議所にとっても今まで経験したことのない激変の年と言っても過言ではありません。社会環境は想像を絶する早いスピードで変化し、我々の都合や感情を全く考慮してくれません。(社)鳥取青年会議所が社会環境の変化を意識することなく、組織内の理論が先行する組織であれば必ず衰退の一途を辿ることでしょう。現在の(社)鳥取青年会議所には失敗や非難を恐れず、勇気をもって信じた方向に大きく舵を切り、組織や事業のありかたについて発想転換することが必要であります。

また本年は新運動ビジョン「環光のまち因幡」推進運動の元年であります。全メンバーがこの新運動ビジョンに意識のベクトルを合わせて突き進まなければなりません。その為には委員会内での「環光のまち因幡」推進運動に対する活発な勉強や議論が必要であります。更に本年は創立50周年の年でもあります。今まで歴史を創ってこられた先輩達への感謝の気持ちを忘れず、創立100周年へ向けての第一歩を全メンバーの英知と勇気と情熱をもって踏み出しましょう。

因幡地域の「未来」を変えることができます。は、「今」の我々のチャレンジがあります。は、「未来の笑顔は我が責務なり」であることを肝に銘じ、2009年度が(社)鳥取青年会議所にとって輝かしい一年になるために、力を合わせて頑張りましょう。

2009年度 日本JCスローガン

やさしくあるために、つよくなる

愛に満ち溢れたつよいJAYCEEによるアドマイヤー型社会の実現「真日本建国」に向けて

2009年度 鳥取JCスローガン

～ 未来の笑顔は我が責務なり ～

将来の因幡を担う今の子供達が大人になった時に、「因幡に生まれて良かった」と思うことのできるまちを創る責任を負って(社)鳥取青年会議所は活動します。



◎事業報告 新年祝賀会式典・懇親会

【会員交流委員会】

委員長 大月 理恵

新年明けましておめでとうございます。1月11日、新年最初の事業であり、対外向けの事業でもあります。2009年度(社)鳥取青年会議所新年祝賀会をつつがなく終えることが出来ました。

当日の悪天候の中お越しいただきました多くのご来賓、先輩の皆様、ありがとうございました。式典も懇親会も華々しく賑やかに行なえたこと、八田副委員長も緊張の中での司会を無事に終えたこと、50周年にむけてもPRも盛大に行なうことができました。皆様のご協力があればこそだと大変感謝しております。懇親会やお見送りの際に先輩方や来賓の方から数多くの「良かったよ」の声に、一緒に苦労を共にしてきた委員会メンバーに感謝、当日様々なサポートをいただいた現役メンバーの皆さんにも感謝しております。



私一人の力では到底出来ることもないことでも、多くの仲間の支えで成功できたことを、痛感しております。本番までに様々な方に励ましや様々な尽力をいただき支えていただきました。本当にありがとうございます。

【会員交流委員会】

副委員長 八田 大輔

冬という季節を感じさせる中、新年祝賀会が1月11日(日)無事に迎えることができました。理事役員・メンバー・お手伝い頂いたすべての方に感謝しております。ありがとうございます。



と重みを感じ取ることができました。2009年度は、鳥取青年会議所にとっても大きな変革の時だと思います。会員交流委員会、委員長以下メンバーは水野理事長の力になれればと思っております。今始まったばかりで先はまだありますが、皆様これから一年間どうぞよろしくお願い致します。

【会員交流委員会】

委員 野藤 実

大きな節目の年の新年祝賀会を、1月11日に迎えることとなりました。前日からの大雪もあり、参加者数の心配もありましたが、多くの方に参加いただき大変感謝いたします。

式典で、ご来賓、先輩方からのお言葉、水野理事長の決意、そして、懇親会での50周年記念大会スピールでの山根委員長の言葉を聞き改めて、鳥取JC一丸となり地域のためにやらなければならないと深く思いました。また、新年祝賀会が無事に終えたのも、会員交流委員会メンバーだけでなく参加メンバーの協力が大きな力となったと思います。ありがとうございました。これからも鳥取JCがより一丸となり、いろいろな事業に参加、成功できるような会員交流が出来たらいいと思います。



◎2009年度研修会員

2009年度前期研修会員として、14名の青年達が入会いたしました。期待のルーキーズの紹介をホームページに掲載しています。来月会報誌には研修会員の所信を掲載いたします！

◎1月理事会報告

1月13日(火)、1月理事会が行われました。審議事項16件、協議事項5件という大変ボリュームのある内容で、遅くまで議論が交わされました。閉会時間は確か深夜2時30分だったような・・・。

◎京都会議

いよいよ今週末は京都会議です。スケジュール表等はホームページからダウンロード可能です。総務委員会の皆さん、よろしく願います！

◎青雀会

JCメンバーの交流の場、青雀会のご案内です。1月26日(月)、場所はいつもの式部となつております。今年は松本監事が会長です！年間スケジュールをホームページにアップします。

◎じゃがいも会

いよいよ西垣直前理事長がじゃがいも会を覚醒・確変する時が参りました。開催まで今しばらくお待ち下さい。

◎慶事報告

広報委員会委員 川木宣広君に待望の第2子が誕生しました。総務委員会委員 太田康介君がご結婚されました。

●今ページの詳しい内容につきましては(社)鳥取青年会議所ホームページ内の会員専用ページをご覧ください。
URL <http://torijc.hal.ne.jp>

「環光のまち因幡」推進運動

因幡の豊かな自然環境(ENVIRONMENT)と因幡の特徴を活かした環境保全活動(ECOLOGY)を観光資源として活用し、人と人との環を広めながら「環境」と「経済」が好循環するまちを創る運動です。

編集/発行/印刷:(社)鳥取青年会議所 広報委員会
鳥取市本町3丁目201番地 鳥取産業会館・鳥取商工会議所ビル4階 TEL:0857-24-1638
発行日:2009年1月21日



理事役員年頭所感

【副理事長】

安田 雄哉

新年明けましておめでとうございます。創立50周年という節目の年にあたり、副理事長という大役を仰せ付かり、身の引き締まる思いであります。

私は因幡ビジョン特別委員会、因幡のグリーン政策委員会、2つの委員会を担当させていただきます。

因幡ビジョン特別委員会では50周年記念事業の企画および、本年度よりスタートする「環光のまち因幡」推進運動の浸透策及びスケジューリングについて検討を行ってまいります。

また因幡のグリーン政策委員会では因幡の特徴を活かし、環境と経済が好循環するまちを目指し、鳥取JCしいたけの森プロジェクトを企画してまいります。1年間よろしくお願い致します。

【副理事長】

森田 浩二

2009年度、副理事長を務めさせていただくこととなりました。私は50周年実行特別委員会と新生鳥取砂丘政策委員会の2委員会を担当させていただきました。この二つの委員会が、与えられたテーマを遂行し、充実した委員会活動ができるようサポートしていきたいと思えます。創立50周年という大きな節目にLOMメンバーとしてまた副理事長として活動できることに感謝するとともに誇りに思い、その責務を全うできるよう頑張りますので1年間よろしくお願いいたします。

【副理事長】

福田 俊史

新年明けましておめでとうございます。本年度、記念すべき50周年の年に水野理事長のもと副理事長という大役を務めさせて頂くことになり、改めて身の引き締まる思いでございます。

最後ではございますが、(社)鳥取青年会議所のメンバーの皆様には、より一層のご指導ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

【広報委員会】

委員長 山田 大介

新年明けましておめでとうございます。本年度、広報委員会の委員長を拝命致しました山田大介と申します。私たちは組織内に必要とされる情報を迅速に捉え、的確かつ分かり易く伝えていき内部の活性化に繋げたいと考えます。また各委員会活動をサポートし積極的に外部とのパイプ役となり、(社)鳥取青年会議所全体を外部へ発信していきます。そして発信だけに止まらず、組織の活力や活性化に向けて具体的な形として結びつける広報活動を展開していきたいと考えます。一年間どうぞよろしく願います。

【会員交流委員会】

委員長 大月 理恵

新年明けましておめでとうございます。本年度、会員交流委員会委員長を務めさせて頂いただきます。当委員会は会員交流という名の通り、会員同士を繋ぐ定例会をはじめとする各事業をテーマとして活動を行います。「まちづくり」に対する熱意をもった同士を暖かくもてなす。それが人と人を、そして委員会同士を繋ぐ委員会事業の基本だと思います。特に定例会は、それぞれ活動をしている委員会同士が集まる貴重な時間です。お互いに「まちづくり」の活動進捗を報告して頂き、確認し合う為にも、この重要な限られた時間を有効に使っていただく準備を、会員交流委員会メンバーが一丸となり取り組んでまいります。

JCの今までの50年という歴史の中では僅かな一歩ではありますが、この一年が充実したものと云われるような、心

道州制を見据えた社会参画意識向上の為の取り組みがテーマに与えられた田中委員長率いる「社会参画推進委員会」、そして因幡の自然環境を活かし地域経済を活性化する取り組みがテーマに与えられた荒田委員長率いる「究極の田舎政策委員会」この二つの委員会を担当させて頂きます。2009年度、この二つの委員会が10年の戦略で進められていく、「環光のまち因幡」推進運動の初年度として、しっかりとしたスタートがきれるよう、確実に成果を残せるよう、全力でサポートしていきたいと考えております。何はともあれ今年は50周年の年。50周年にふさわしい活動を行い、結果を残したいと思っておりますので、皆様一年間どうぞよろしく願います。

【副理事長】

小池 誠

本年度、水野理事長のもと副理事長を拝命することとなりました。創立50周年そして新ビジョンの元年に、このような大役を務めさせて頂きます。この大きな責任に大変緊張し、身の引き締まる思いでいっぱいです。

担当するのは、会員交流委員会・青少年育成委員会です。大月委員長、星山委員長をサポートして2009年度に大きな成果を残せるよう、悔いが残らないよう一緒に頑張っていきたいと思えます。入会して10年がたちますが、これまでの青年会議所活動で学び、そして諸先輩方から教わった経験を活かしていけるよう、取り組んで参りたいと存じます。私も「未来の笑顔は我が責務なり」を胸にチャレンジしたいと思えます。皆様一年間宜しくお願い致します。

【専務理事】

濱崎 大輔

創立50周年という節目となるこの年に、専務理事という大きな役目をいただいた事、身の引き締まる思いとともに、に残る委員会事業を行いたいと思えます。一年間よろしく願致します。

【青少年育成委員会】

委員長 星山 君泰

本年度、青少年育成委員会委員長を務めさせて頂いたこととなり、大変緊張しております。それと共に新たな決意と大きなやりがいを感じております。本年のこの委員会では二つのテーマを元に委員会を運営していきたいと思えます。ひとつは40年の歴史をもつ若草学園施設交流事業、もう一つは異年齢交流事業であります。

異年齢交流につきまして鳥取青年会議所の新たな継続事業になる可能性をもった事業として過去の検証と新たな可能性を模索し継続事業になる枠組みをしっかりと確立したいと思えます。皆様、一年間宜しく願致します。

【社会参画推進委員会】

委員長 田中 雅幸

新年明けましておめでとうございます。本年、社会参画推進委員会委員長を務めさせて頂いたこととなりました。住みよいまちをつくるには行政に依存しているだけではできません。そこに住む市民がまちづくりの主体者となり自発的に行動してこそ自分たちのまちができればと思います。社会参画推進委員会の名の通り因幡地域のまちづくりに参画するひとを一人でも多くすることが当委員会の使命だと感じております。初めての委員長でご迷惑をかけることもあるかとは思いますが、しっかりと委員会メンバーをまとめ充実した1年だったと思われるよう精一杯頑張りますのでよろしく願います。

これまで経験したことのない喜びを感じております。1959年に誕生したこの鳥取青年会議所は、これまでたくさんの方、そしてたくさんの方の力のおかげで大きく成長して参りました。皆様からの大きな愛情に心から感謝し、また50年という深く重い歴史に恥じないよう、精一杯励んでいく所存です。

2009年度、この社団法人鳥取青年会議所から発する新たな光を、強く大きく輝かせていきます。今後ともご指導ご鞭撻、何卒よろしく願ひ申し上げます。

【因幡ビジョン特別委員会】

委員長 今井 敏明

私がいつも事業を行うときに基軸としていることはただひとつであります。それは、「因幡地域の未来につながるのか」という、単純なことであります。本年度スローガン「未来の笑顔は我が責務なり」もまさしくそのとおりであり、ぜひ因幡地域が大きく飛躍する1年にしたいと考えております。本年どうぞよろしくお願いいたします。

【50周年実行特別委員会】

委員長 山根 康穂

1959年(昭和34年)に47名の士によつて「明るい豊かな社会を目指し」「郷土への愛と奉仕」を理念の基に全国で156番目の青年会議所として誕生した鳥取青年会議所は、2009年で創立50周年を迎えます。今日までの活動において様々な形で「まちづくり」や「ひとづくり」を行ってきた私たちの組織は、今後もJC活動の発展とJC運動の発信に努めていかなければなりません。創立50周年の大会コンセプトである「環光のまち因幡」推進運動の発展と発信を行う上でも、大切な視点である「人と人の環」、「未来への光」を創立50周年記

【因幡のグリーン政策委員会】

委員長 野田 祐二

新年あけましておめでとうございます。本年「因幡のグリーン政策委員会」委員長を勤めさせて頂きます野田でございます。当委員会は因幡地域の特徴を活かした環境への取り組みを行い、また地域の人々と協働し人と人との環を広げること、そして「環境」と「経済」が好循環するまちづくりを目標としています。因幡地域の豊かな森林にスポットをあて、多くの市民と共に森の中でしいたけの原木栽培を行い森林保全活動を行います。また利用し、森林を有効利用しつつ楽しさの中から森林保全の大切さを感じていただきたいと思えます。

一度だけの開催・参加ではなく、複数回参加できる機会を設け、自分達で育てていく自分達の森であると親しみ楽しんでもらえる森づくりを行っていきたいと思えます。

【究極の田舎政策委員会】

委員長 荒田 潤之介

皆様、謹んで新春のお慶びを申し上げますと共に旧年中大変お世話になり、心よりお礼を申し上げます。

創立50周年を迎える大きな節目の年に委員長という大役を仰せ付かり、身が引き締ると共に心から感謝を致したいと思えます。

当委員会は「環光のまち因幡」推進運動の3つの政策の一つである『究極の田舎政策』をテーマとして、因幡の田舎環境を活かした商品やサービスを地域のひとと協働し外部の人々に提供し、『田舎』と『経済』が、好循環するまちを創ることを目指します。

新ビジョンの初年度である今年は、将

念大会で表現していきたいと考えています。創始への感謝の気持ちと各地青年会議所との友情を持ち続けていき、メンバーが一丸となって創立50周年記念大会に邁進していく所存で御座います。

【組織力向上特別委員会】

委員長 柴原 史則

明けましておめでとうございます。本年度は組織力向上特別委員会委員長という大役に就かせていただくことになりました。主な職務としては三分間スピーチ、研修会員の研修会や会員拡大等ではありますが、本年度の私のテーマとしては個々の会員の皆様に青年会議所活動を行うことの意味付けをしっかりと掴んで欲しいという想いがあります。今現在活動を行っているメンバーに、この活動の意味付けが出来ていなければ会員拡大にも限度が出てきます。様々な場面にてこの想いをしっかりと伝えさせて頂きながら皆様の力を結集して大きな成果へと繋げたいと考えます。一年間宜しくお願い致します。

【総務委員会】

委員長 橋本 泰治

明けましておめでとうございます。本年度、総務委員長を拝命致しました橋本です。

本年度鳥取青年会議所は、50周年を迎えました。諸先輩方が築き上げてこられた半世紀に亘る歴史を受け止め、そして感謝し、これからさらに5年後、10年後へと(社)鳥取青年会議所の精神を引き継ぎ、又飛躍させることができますよう、協力ができたらと考えております。次代を見据え、この因幡に必要とされる(社)鳥取青年会議所の実現を目指し、総務委員会メンバー一丸となりJC活動を展開したいと思えます。

来的な移住・定住をテーマに掲げ、鳥取県と連携し、因幡の自然環境を活かした新たな観光スタイルやライフスタイルを提案・提供することにより交流人口の増加を目指します。初理事として多々ご迷惑をお掛けすると思いますが、ご指導ご鞭撻を宜しく願ひ致します。

成果を残すべく委員会一丸となって活動をしていきます。

【新生鳥取砂丘政策委員会】

委員長 田淵 裕章

あけましておめでとうございます。先ずは、創立50周年を迎える本年度、委員長として活動できることに感謝申し上げます。諸先輩方が長きに亘り推進してきた「まちづくり運動」、その上で築いてきた地域との絆は私たちに深く根付いた財産です。この財産は、私たち(社)鳥取青年会議所メンバーの誇りとなつて今も組織に受け継がれています。私は本年度、この誇りをしっかりと胸において、委員長としての責任を再度自覚し、鳥取砂丘と因幡の未来を見据えた運動を推進していくことをお約束します。

本年度は「環光のまち因幡」推進運動元年であります。また、その中の新生鳥取砂丘政策の元年でもあります。委員会としての活動の一つ一つを自分自身、そして委員会メンバーの成長につながる様努力し、その得た能力を地域社会に持ち帰ることが私達の住むまち因幡のための原動力となります。当委員会の活動が、因幡にとつて、組織にとつて、委員会メンバーにとつて最大限の成果を残すべく委員会一丸となつて活動をしていきます。

なお、この他の理事役員の年頭所感(社)鳥取青年会議所ホームページ内の会員専用ページに掲載しております。こちらも併せてご覧ください。